

「
鬼
神
童
女
遊
侠
伝
番
外
編
見
え
な
い
敵
」
（
仮
）

超
短
編
映
画

作
・
民
富
田
智
明

見			入		春	○
え	特	い	間	凜	小	登
な	攻	る	原	様	路	場
い	戦	独	堅	と	清	人
敵	士	身	次	同	子	物
(神	男	郎	化	(
?	風	性	(す	1	
)	に	。	3	る	6	
正	な	後	8	こ	く	
体	る	に	く	と	1	
不	。	お	3	に	8	
明		凜	9	な)	
。		様)	る	女	
		の	清	。	子	
		託	子		高	
		宣	と		生	
		を	交		。	
		受	際		後	
		け	し		に	
		て	て		お	

○ 題 字 「鬼神童女遊侠伝番外編 見えない敵」
 た：「
 に：遭うなんて、この時は思ってもいなかっ
 も：楽しかったけど、まさか、あんな目
 の：だ。今日は山に遊びに行っただの。とっ
 な：なんて関係ないの。馴れ初めは色々あ
 っ：ては最高の王子様。歳が離れすぎ？ 歳
 漫：画みたいに美男子じゃないけど、私にと
 私：のお兄ちゃん、人間原堅次郎さん。少女
 る：普通の高校生。隣で運転しているのは、
 清子（N）「私、春小路清子。どこにでもい
 〇 車内
 入間原堅次郎（3839）が運転し
 て、いる。助手席に春小路清子（16
 一：台の車が軽快に走ってくる。
 交：通量は少ない。
 ○ 山沿いの車道

○	○	○	○	清	堅	○	○
観	近	観	清	子	次	車	観
光	く	光	の	大	郎	内	光
駐	森	駐	子	丈	一		駐
車		車	が	夫	休		車
場		場	プ	夫	憩		場
			ラ	°	し		
清	清		プ	待	よ		
子	子		ラ	っ	う		
が	を		歩	て	°		
景	見		き	る	ト		
色	て		回	ね	イ		
を	い		る	ー	レ		
眺	る		°		大		
め	何		向		丈		
て	者		か		夫		
い	か		の		？		
る	の		視		ー		
。	線		線				
	。		。				
			清				

堅次郎が公衆便所から出てくる様子は、
 けいてく。見えない敵が清子を追いか
 正体不明の見える敵が清子を追いか
 清子が走って逃げ出す。
 いやああ！「何者かが清子に触れる。
 清子に近づくと異様な気配。
 清子が不安そうに公衆便所の方を見る。
 「なんなの：：」
 清子は驚いて身構える。
 清子「きゃあ！」
 何者かが清子に触れる。
 清子が振り返っても何もなし。
 清子「え？」
 清子の背後から近づく異様な気配。
 ○ 観光駐車場
 ○ 近くの森
 清子を見ている何者かの視線。

清 見 清 堅
 子 え 子 次
 「 な ー 堅 枝
 き い 見 堅 見 堅 さ 堅 お 堅 沈 打 見 見 木 木 堅 ー 堅 枝
 や 敵 え 次 次 次 次 次 兄 次 次 沈 み 打 す 見 え 見 の の 次 ー 堅 枝
 あ 「 な 郎
 あ グ 敵 力 敵
 つ オ オ が 、 清 子 を 狙 う 。
 ! オ オ が 、 清 子 を 狙 う 。
 「 オ オ が 、 清 子 を 狙 う 。

清 見 清 堅
 子 え 子 次
 「 な ー 堅 枝
 き い 見 堅 見 堅 さ 堅 お 堅 沈 打 見 見 木 木 堅 ー 堅 枝
 や 敵 え 次 次 次 次 次 兄 次 次 沈 み 打 す 見 え 見 の の 次 ー 堅 枝
 あ 「 な 郎
 あ グ 敵 力 敵
 つ オ オ が 、 清 子 を 狙 う 。
 ! オ オ が 、 清 子 を 狙 う 。
 「 オ オ が 、 清 子 を 狙 う 。

○ 車道

車が軽快に走っていく。

完

集中している。
堅次郎が、笑みを浮かべつつ、運転に

いるからねー

清子（N）「何があっても、ずっと一緒に

清子の微笑がまぶしい。

清子が、堅次郎の脚にポンと手を置く。

運転する堅次郎の横に座っている清子。

○ 車内